

議長定例記者会見 会見録

日時：平成27年3月2日 10時30分～

場所：全員協議会室

1 冒頭の発言事項

○冒頭の挨拶

2 質疑項目

○平成26年度2月補正予算について

○主要国首脳会議（サミット）の誘致について

1 冒頭の発言事項

○冒頭の挨拶

（議長）おはようございます。今日は発表事項が特にございませんので、私の方から少し感想を述べたいと思います。

今定例月会議では、平成27年度当初予算や国の緊急経済対策に対応した平成26年度2月補正予算について主に議論をしております。

その中で、2月24日には、国の平成26年度補正予算に対応した、地方創生に先行的に取り組むための事業や公共事業等の追加を行うための補正予算などについて、早期の事業執行により、その効果が発揮されるよう、議会といたしましても十分議論のうえ、先議をしたところであります。

また、2月27日には、消費喚起を通じて地方創生の推進を図るための補正予算も提出され、この補正予算についても迅速かつ適切に対応してまいりたいと考えております。

今後は、本会議での質問・質疑が終わり、各常任委員会や分科会へと議論の場が移りますが、引き続き、人口の社会減対策や少子化対策、産業や観光の振興、防災対策、教育行政の推進など県政の様々な諸課題についてしっかり議論を行い、議会としての責務を果たしてまいりたいと考えております。

私からは、以上でございます。

2 質疑応答

○平成26年度2月補正予算について

（質問）27日に上程されました消費喚起の補正予算の関連ですが、メニューとしては、ジビエの消費喚起だったり、観光客向けのクーポン券というか、お得に買えますよというものが出ていますが、そのあたりについて、議長としては、どの程度の効果が見込まれるというふうに現状考えておられるか、お聞か

してください。

(議長) 効果ですね。私はよほど地方として入念に企画、立案をして考えていかないと、過去の経験がありますよね、よほど地方も入念に対応して、きちっとそれなりの政策を立案して執行していかないと、後で、効果としてはいかなものか、ということになりはせんかなというふうに私自身はそんな思いでいっぱいでございます。だから、よほどこれはですね、議会といたしましても、大いに経験を踏まえながら十分な議論を尽くしたいなど、このように思わせていただいております。

○主要国首脳会議（サミット）の誘致について

(議長) 私から申し上げてよろしければ、1項目だけよろしいですか。サミットの問題です。

サミットの誘致に向けて設置された「2016年みえ伊勢志摩サミット誘致推進協議会」の顧問に、議員全員が就任しているところでございます。

また、訪日外国人が増加するなど日本への関心が次第に高まるなか、サミットの開催場所に選定されるならば、本県の情報を国内外へ発信する絶好の機会でもございますし、多大な経済効果を見込めることから、県議会といたしましても、県内の関係者ととも一致団結して、誘致につながるよう応援していきたいと考えているところであります。

主要国首脳会議（サミット）の誘致に向けた県議会の決議の対応につきましては、今後も各党派と調整してまいります。ぜひ、これはなんとか実現が図られればいいことだと私自身も考えますし、これからの議論を待ちたいと思っておりますが、なんとか成功させたい一件でございます。

(質問) 全国各自治体が手を挙げている状況ですけど、三重県は志摩市中心に開催したいという意向ですけれども、三重県にとってイニシアチブがとれる部分とかですね、強みになる部分がどのあたりにあるかというふうにお考えでしょうか。

(議長) これからいろいろ議論しなきゃならない問題だと思うんですが、一番大事なのは警備体制でございますね。おかげさまで三重県は皇室等の来県による警備に慣れておりますし、体制等については、私は非常に他県より優れたものがあると思っておりますし、これなんかは非常に大事なことだと思いますのでね。大いにマスコミさんもよろしくお願いします。

(以 上) 10時38分 終了